

1

プレスリリース

NMAO | PRESS RELEASE

2011/11/14

無限の宇宙を探しても、  
こんな芸術家はほかにいない。

# 草間彌生

永遠の永遠の永遠

YAYOI KUSAMA Eternity of Eternal Eternity

2012年1月7日(土)→4月8日(日)

国立国際美術館

国立国際美術館では、「草間彌生 永遠の永遠の永遠」を開催いたします。

草間彌生（1929- ）の原点となる、幼少期の幻覚的な絵画作品が描かれてから70年の時を経て、今、彼女の新たな心象絵画ともいえる珠玉の作品群が生まれようとしています。2009年から草間が驚異的な創作意欲を傾注してきた新しい絵画シリーズ『わが永遠の魂』は、鮮烈な色彩によって、いまだ童女のように無垢な彼女の想像力を形象化した、これまでにない絵画作品となっています。

この新しい「草間ワールド」の日本初公開となるのが本展覧会です。『わが永遠の魂』の中から47点を展示します。ここでは、日々呼吸のように生み出される草間彌生の、創造への執着とその結晶としての豊饒なイメージの世界を見ることになるでしょう。

一方、カラフルな色彩を纏った新作群と対照的なのが、50点からなる『愛はとこしえ』の連作作品です。草間が2004年から3年間で描き上げたドローイングを元に、シルクスクリーン作品へと仕上げたもので、無限に湧き出てくる連鎖的イメージを描き出したものです。

これらの絵画作品の他に、本展では新作となる彫刻作品も併せて展示します。草間にとって絵画や彫刻といったジャンルは、もはや意味を持ちません。すべての創作物が彼女の血であり肉体であり、すなわち生きていく証といえるものだからです。

現代日本を代表する美術家として、世界で活躍を続ける草間彌生。本展は、その希有な才能の最先端に触れることのできる貴重な機会となることでしょう。

## ■開催情報

- ◇展覧会名 草間彌生 永遠の永遠の永遠 YAYOI KUSAMA Eternity of Eternal Eternity
- ◇会 期 平成24年1月7日(土)～4月8日(日)
- ◇会 場 国立国際美術館 B3階展示場 (大阪市北区中之島4-2-55)
- ◇開館時間 午前10時から午後5時、金曜日は午後7時まで開館(入館は30分前まで)
- ◇休館日 毎週月曜日、ただし1月9日(月・祝)は開館、1月10日(火)は休館
- ◇観覧料 当日／一般1,400円、大学生1,000円、高校生700円  
 前売・団体／一般1,200円、大学生800円、高校生500円  
 ※団体は20名以上  
 ※中学生以下並びに心身に障害のある方とその付添者1名は無料  
 (証明できるものをご提示いただく場合があります)  
 ※前売券販売期間：12月7日(水)～2012年1月6日(金)  
 ※本料金で「コレクション展」もご覧になれます。

- ◇主 催 国立国際美術館、朝日新聞社
- ◇協 賛 京阪電気鉄道、岡村印刷工業、ダイキン工業現代美術振興財団
- ◇協 力 草間彌生スタジオ、ロイヤルホテル、朝日放送

<sup>クサマ</sup>**930チケット 期間限定特別販売！ 11月7日(月)～12月6日(火)**

期間中に限り、一般1,400円 → <sup>クサマ</sup>特別価格**930円**で販売します。

チケットぴあ(Pコード764-865)、ローソンチケット(Lコード54930)、CNプレイガイド、イープラス、近鉄駅営業所、阪神プレイガイドで販売します。

## ■作家プロフィール



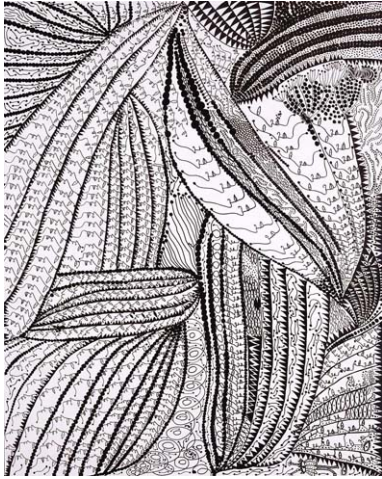
©YAYOI KUSAMA

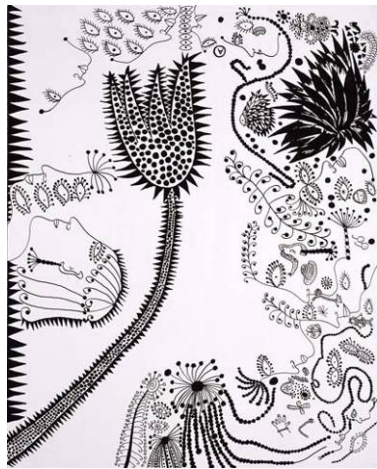
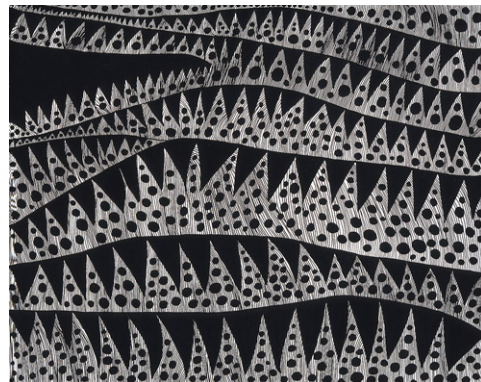
草間彌生 前衛芸術家 小説家

1929年、長野県松本市生まれ。10歳の頃より水玉と網模様をモチーフに幻想的な絵画を制作。57年渡米、巨大な平面作品、ソフトスカルプチャー、鏡や電飾を使った環境彫刻を発表する。60年代後半にはボディ・ペインティングなど多数のハプニングを行う。73年帰国、美術作品の制作発表を続けながら、小説、詩集も多数発表。93年第45回ベネチア・ビエンナーレに代表作家として日本館初の個展を行う。98年ニューヨーク近代美術館などで大回顧展が開かれる。01年朝日賞受賞。04年「クサマトリックス」(森美術館)は52万人を動員。09年文化功労者に選定される。11年5月よりマドリードの国立ソフィア王妃芸術センターを皮切りにパリのポンピドー・センター、ロンドンのテート・モダン、ニューヨークのホイットニー美術館を巡回する大規模な回顧展が開催されている。

**■ 作品紹介**

□ 『愛はとこしえ』 シリーズ 50点からなる連作作品（シルクスクリーン・キャンバス）

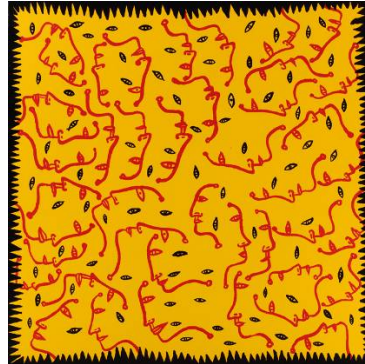

 女の園 [OEWST] 2005  
 H162.0×130.3 cm

 愛はとこしえ [TAOW] 2004  
 H130.3×162.0 cm

 花咲けるニューヨーク [OPRT] 2005  
 H162.0×130.3 cm

 波 [TWXZO] 2007  
 H130.3×162.0 cm

□新作絵画『わが永遠の魂』より 47点 (アクリル・カンバス)



果てしない人間の一生 2010  
H194.0×194.0 cm



人間の一生 2010  
H162.0×162.0 cm



星 2010  
H194.0×194.0 cm



強迫 2011  
H162.0×130.3 cm



野の花たち 2011  
H162.0×130.3 cm

©YAYOI KUSAMA STUDIO Inc., Courtesy of OTA FINE ARTS.

□『魂の灯 (たましいのともしび)』2008

天井と壁に張られた鏡と、床の水面に、LED 電球の光が色を変えながら反射して増幅する立体作品。



©YAYOI KUSAMA

その他、最新作となる絵画、彫刻作品を出品予定です。

5

プレスリリース

NMAO | PRESS RELEASE

リーガロイヤルホテル(大阪)で立体作品『明日咲く花』2011 を特別展示いたします。(無料)



©YAYOI KUSAMA, Courtesy of Victoria Miro Gallery, OTA FINE ARTS.

## ■ イベント

## ・ 記念講演会

2月18日(土) 14時～

「草間彌生の世界」講師：建畠哲（京都市立芸術大学学長／埼玉県立近代美術館館長）

## ・ 講演会「担当学芸員によるレクチャー」

1月14日(土) 14時～

3月17日(土) 14時～

各日とも、会場：B1階講堂 定員130名

※聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

※当日、10時から整理券を配布します。

## ・ 映画上映会 「≡草間彌生 わたし大好き」(2008年日本、102分、監督：松本貴子)

1月28日(土)

3月3日(土)

各日とも11時～、14時～の2回上映

会場：B1階講堂 各回定員130名

※聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

※当日、10時から整理券を配布します。

## ・ ギャラリー・トーク

1月21日(土) 14時～

講師：おかげんた（お笑いタレント／アート愛好家）

会場：B3階展示室 先着90名

※聴講は無料ですが、本展の観覧券が必要です。

※当日13時30分より聴講用ワイヤレス受信機を配布します。

## ・ コンサート

栗コーダーカルテット ミニ・コンサート

2月4日(土) ①13時～ ②15時～

会場：B1階講堂 各回定員130名 自由席

料金：各回 3,000円

本展入場料を含みます（観覧は当日のみ）

※開場は各回30分前

※チケット発売は12月1日(木)から、チケットぴあ(Pコード:154-454)、ローソンチケット(Lコード:54931)、イープラスで。



イベントはいずれも予定です。

本展は、埼玉県立近代美術館(4/14～5/20)、松本市美術館(7/14～11/4)、新潟市美術館(11/10～12/24)へ巡回する予定です。

詳しくは、展覧会公式サイト (<http://www.asahi.com/kusama/>) をご確認ください。

---

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、別紙申込書または国立国際美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

[<http://www.nmao.go.jp/press/index.html>]

お問い合わせ先

TEL: 06-6447-4680 (代表) FAX: 06-6447-4698

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-2-55 国立国際美術館